

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	美容室（経営者）	・暑さで来店を見合わせた客が多いため、今後はその反動で来客数は増える。
	やや良くなる	百貨店（企画担当）	・今月は不調であったが、主に天候要因であるため、一時的である。名古屋駅地区の集客は依然として好調であり、今後も来客数は高い水準で推移する。
		コンビニ（エリア担当）	・現在の回復傾向は、今後も続く。
		乗用車販売店（従業員）	・今後は各社が新型車を投入するため、販売環境は厳しさを増すが、自動車市場には活気が出てくる。
		住関連専門店（営業担当）	・民間の設備投資に伴う、工場、オフィスや商業施設の案件が進展している。住宅リフォームの案件も、今後増加する。
		一般レストラン（経営者）	・今月の売上は開店以来最低であったため、今以上に悪くなることはない。
		旅行代理店（従業員）	・魅力のある旅行企画には、まずまずの参加がある。秋の行楽企画にも、引き続き集客を見込める。
		ゴルフ場（企画担当）	・10月の日別の予約件数は、前年同日よりかなり上回っている。
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・入校の問い合わせ状況から判断すると、やや良くなる。
	変わらない	一般小売店〔薬局〕（経営者）	・地場産業が上向いていないため、今より良くなることは考えられない。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・客の金の使い方は、今後も慎重な態度が続く。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・客の様子を見ていると、今後もやや弱い調子が継続する。
		百貨店（経理担当）	・10～20代の婦人服関連は好調であるが、紳士関連や雑貨関連は不調であり、今後もこの傾向が続く。
		百貨店（外商担当）	・外商顧客の会社の倒産や自己破産が増えており、やや悪くなる状況が今後も続く。
		百貨店（婦人服販売担当）	・必要な物を必要な時に必要なだけ買うという消費行動は、今後も続く。
		スーパー（経営者）	・大企業で働く人より中小企業で働く人の方が圧倒的に多く、中小企業の給料は伸びていないため、今後の消費動向は今と代わらない。
		スーパー（経営者）	・大型店の出店が相次いでおり、今後も客の奪い合いで厳しい状況が続く。
		スーパー（店員）	・良くなる要素はないが、これ以上悪くなる要素もない。
		コンビニ（経営者）	・良くなる兆しはないが、これ以上悪くなることもない。今後も悪い状態で安定的に推移する。
		衣料品専門店（売場担当）	・名古屋市内では、集客力の高まりによって、今後も来客数は安定的に推移する。ただし、売上の伸びはあまり見込めない。
		乗用車販売店（経営者）	・軽自動車業界は薄利多売であり、今後も客の取り合いが続く。
		乗用車販売店（経営者）	・月ごとの単価の変動が小さくなっており、低い水準で安定している。今後もこの傾向は続く。
		都市型ホテル（従業員）	・予約件数は、ほぼ横ばいである。
		旅行代理店（経営者）	・一時は回復傾向にあったが、夏は不調であったため、今後は差し引きゼロである。
		通信会社（サービス担当）	・安い、得をするといった目玉がないと、販売に結び付かない。目玉も長続きはせず、今後も厳しい状況が続く。
		ゴルフ場（経営者）	・予約件数は、前年同月比で良くなっている。ただし、コンペの数は減少し始めており、料金も値下がり傾向にある。
		住宅販売会社（企画担当）	・今月はかなりの落ち込みであったため、これ以上悪くなることはなく、横ばいである。
その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）		・企業の設備投資に関係する引き合いが減少している。個人関係では、住宅リフォームの問い合わせがあるが、受注できるかどうか分からない。	
やや悪くなる		商店街（代表者）	・原材料価格や燃料費の値上がりを考慮して、商品値上げを検討している。そのため、客離れが進む。
	商店街（代表者）	・法人需要は少しずつ回復するが、個人消費は停滞したままである。そのうえ、原材料価格、光熱費の高騰が続く。	

	一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・諸物価が少しずつ値上がりしているが、客の多くが勤める中小企業では所得が伸びておらず、消費は今後も低迷する。
	百貨店(販売担当)	・これまでプライダル商品等に価格改定前の駆け込み需要があったため、今後の売行きは落ち込む。
	スーパー(店長)	・ガソリン価格の高騰に加えて、今後は食品が一斉値上げされるため、買い控えは一層進む。スーパーでは安売りせざるを得ず、収益が圧迫される。
	スーパー(店長)	・ガソリン価格の値上げ等に伴い商品値上げが増えるため、今後は買上点数の減少や低価格品へのシフトといった影響が出てくる。一部の客はこだわりのある商品を買うが、全体としては客単価は伸び悩む。
	コンビニ(エリア担当)	・今月の売上は前年同月を上回っているが、来客数は減少しているため、今後は悪くなる。
	コンビニ(店長)	・雑誌の売上減少に歯止めが掛からないのは、消費が依然として低迷している証拠であり、今後も厳しい状況が続く。
	家電量販店(店員)	・猛暑の特需が一段落すると、反動で売行きは悪くなる。
	乗用車販売店(従業員)	・販売台数が増える要素は見当たらず、少ない需要を多くのディーラーで競い合う環境に変化はない。
	観光型ホテル(経営者)	・2、3か月先の宿泊予約の状況は、前年同期比80~85%で推移している。
	観光型ホテル(販売担当)	・10月の予約件数は、前年同月比でマイナスとなっている。
	都市型ホテル(経営者)	・消費動向は落ち込んできており、今後はやや悪くなる。
	理美容室(経営者)	・今月の来客数は通常より多かったため、今後はその反動が出る。
	美容室(経営者)	・近々美容院が出店するため、また競争が激しくなる。
	理容室(経営者)	・近くに安い理容店ができたため、高齢者や子供はそちらに流れる。
	設計事務所(経営者)	・企業の設備投資案件は、これまで堅調であったが少しずつ減少しており、この傾向は続く。
	住宅販売会社(経営者)	・金利の上昇局面になると売行きは良くなるが、当面は横ばいと見られるため、厳しい。
	悪くなる	コンビニ(店長)
		高級レストラン(スタッフ)
企業動向関連	良くなる	窯業・土石製品製造業(経営者)
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業(経営者)
		窯業・土石製品製造業(社員)
		金属製品製造業(経営者)
		一般機械器具製造業(経理担当)
		輸送用機械器具製造業(統括)
		建設業(総務担当)
	変わらない	食料品製造業(企画担当)
		パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)
		化学工業(企画担当)
		金属製品製造業(従業員)
		一般機械器具製造業(販売担当)
		輸送業(経営者)
		金融業(企画担当)
		広告代理店(制作担当)

	公認会計士	・大企業は好業績を上げているが、下請中小企業の収益は相変わらず厳しい。また、燃料費等のコスト高にも改善の傾向は見られず、中小企業の経営は今後も厳しい。	
やや悪くなる	印刷業（営業担当）	・中小企業はどこも苦戦しており、今後はやや悪くなる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・副資材や段ボール等を含め、原材料の再値上げの依頼が続いている。20%の値上がりになるが、販売価格に転嫁すると直ちに売上は減少するため、今後は厳しくなる。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・円高のため、輸出産業では業績が悪化する。	
	輸送業（エリア担当）	・燃料費の高騰に加えて、円高に伴い輸出産業が現地生産にシフトするため、輸出貨物は減少する。	
	輸送業（エリア担当）	・貨物の動きは変わらない。しかし、軽油等の燃料価格が高止まりしており、タイヤ等の値上げ要請も相次いでいるため、今後も経費増加で厳しくなる。	
	金融業（決算予算担当）	・法規制の強化に伴い、個人への貸出金の不良化が一段と進む。	
	不動産業（経営者）	・住宅市場は一段落しており、今後は余剰住宅の整理が始まる。	
悪くなる	会計事務所（職員）	・これまで賃貸アパートの建設が増加してきたが、多くの業者は建設資金を借入金に依存している。今後は空室の増加と金利上昇に伴い、収益力は低下する。	
	鉄鋼業（経営者）	・中堅中小企業では経営が悪化しており、今後は一段と厳しくなる。	
雇用関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（社員） 職業安定所（職員）	・今後は求人数が増え、求職者は不足する。 ・企業間の業績格差があっても、雇用調整に伴う離職者を同業他社が採用する意欲があり、全体としては上向きになる。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	・企業の求人動向、採用環境共に、大幅な変化はない。
		人材派遣会社（経営者）	・技術者の人材不足は今後も続く。
		人材派遣会社（社員）	・9、10月に求人数が増えても、その後は落ち着く。
		人材派遣会社（社員）	・企業では人材不足に採用が追い付かず、企業の成長は伸び悩む。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	・求人数は鈍化しているものの、今以上に落ち込むことはない。
		職業安定所（所長）	・企業の業況は依然として好調であり、求人数、求職者数に大きな変化は見込まれない。人手不足は今後も続く。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・新規求人は減少傾向にあるものの、それほど大きな減少ではない。落ち着いた状況は、今後も続く。
		新聞社 [求人広告]（営業担当）	・転職求人に関しては、これまで正規社員の求人が増加傾向にあったが、最近は減少に転じており、非正規社員の求人が再び増加傾向にある。 ・新卒求人では、企業は技術系の人材確保に苦労している。
職業安定所（職員）		・原油価格の高騰に伴い、企業の採用動向は不透明になっている。正社員の雇用は、横ばいが減少する。	
悪くなる	学校 [大学]（就職担当）	・求人数に大きな変化はないが、大手企業でも求人減らす企業が出始めている。	
	-	-	